

令和7（2025）年度 伊丹市一般廃棄物処理基本計画 年次レポート【概要】

1. はじめに

伊丹市では、平成30(2018)年3月に、令和9(2027)年度を最終目標年度とする「伊丹市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。本計画では「市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造」の基本理念のもと、ごみの発生抑制と再利用を推進するため“2つの減量目標”と“4つの個別減量目標値”を設定し、基本理念の実現に向け“36の具体的な取り組み”を掲げています。

本報告書は、計画の着実な進行を図るため、令和7(2025)年度における減量目標・個別目標・取組状況について、とりまとめたものです

伊丹市一般廃棄物処理基本計画の概要

□基本理念

『市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造』

□計画期間

平成30(2018)年度～令和9(2027)年度[10年間]

□減量目標

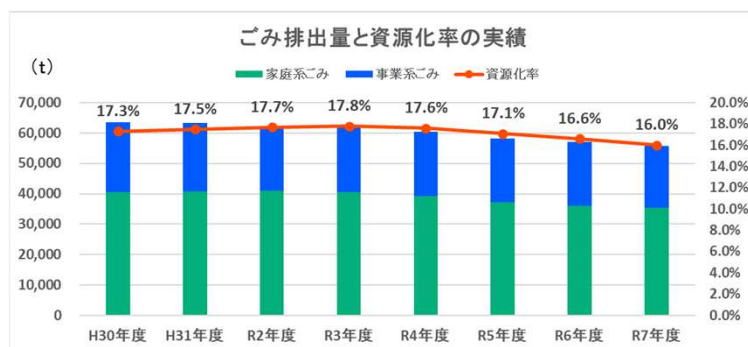
[発生抑制率] 令和9(2027)年度のごみ発生量を平成27(2015)年度に比べ10%(6,649t/年)抑制します。

[資源化率] 令和9(2027)年度の資源化率を18.5%に改善します。

2. 進捗状況

【一般廃棄物処理基本計画と実績】

目標項目	計画年度	平成27年度 (基準年度)	令和6年度	令和7年度		令和9年度 (最終年度)
		実績値	実績値	目標値	実績値	目標値
総排出量 (t/年)		66,603	57,025	61,067	55,783	▲1,242
(内訳)	家庭系ごみ (t/年)	42,959	36,186	39,527	35,445	▲741
	事業系ごみ (t/年)	23,644	20,839	21,540	20,338	▲501
最終処分量 (t/年)		7,727	6,002	6,952	6,003	1
1人1日あたり家庭系ごみ 排出量 (g/人日)		570	508	541	498	▲10
発生抑制率 (%)		—	14.4	8.3	16.2	1.8
資源化率 (%)		16.6	16.6	18.1	16.0	▲0.6



3. 主な取組事項

SAF(持続可能な航空燃料)事業

株式会社、株式会社レボインターナショナル、合同会社SAFFAIRE SKY ENERGYと「伊丹市SAF(持続可能な航空燃料)への資源化促進等に係る連携及び協力に関する協定」を令和7年6月24日に締結しました。

本協定は、互いに連携・協力し、廃食用油がSAF (Sustainable Aviation Fuel)として再資源化されることを市民に周知することにより、分別意識の向上及びリサイクルを促進し、更なるごみの減量化と循環型社会の形成を推進することを目的としています。

【協定の概要】



フードドライブ

令和7年度に開催されたフードドライブ

- ・ 尼崎信用金庫と食deつながろが、市内にある尼崎信用金庫の各支店でフードドライブを実施。(市後援事業)
- ・ 食deつながろが、市役所1階市民協働スペースにおいてフードドライブを実施。(市共催事業)

フードドライブとは、家庭で余っている未利用食品を、食料支援を必要とする方々へ届ける取り組みであり、この活動は市民や事業者の皆さんの日常生活に根ざした身近な社会貢献として、着実に浸透してきています。

